



『水難事故が増加しています』

水難事故事例

行 為：体験ダイビング
場 所：沖縄本島内
居住地：観光客・県外
年 齢：65歳未満

概 要

事故者は、同伴者とガイド1名の3人名で体験ダイビングを開始し、水深3~4M付近で過呼吸のため、パニックとなり、異変に気づいたガイドが浮上させたところ、意識あるも、もうろうで嘔吐したことから救急搬送されたもの。その後退院しています。

行 為：スノーケリング
場 所：離島
居住地：観光客・県外
年 齢：高校生

概 要

事故者は、修学旅行で、引率1名、他生徒30名、ガイド4名の計36名でスノーケリング中、突然意識を失ったも。手を繋いでいた友人が白目をむいている事故者を発見し、ガイドへ知らせガイドが心肺蘇生術施したところ、すぐ意識回復。溺水なく入院無し。

水難事故発生状況（平成29年3月末）

カッコ内は子供（中学生以下）

	平成29年度			平成28年度			増減		
	発生	死者数	行方不明	発生	死者数	行方不明	発生	死者数	行方不明
県 民	7 (2)	2	0	5	4	0	2 (2)	-2	0
観 光 客	5 (1)	0	0	1	1	0	4 (1)	-1	0
米 軍	0	0	0	2	1	0	-2	-1	0
総 数	12 (3)	2	0	8	6	0	4 (3)	-4	0

◎昨年度と比べ県民、観光客の水難事故発生件数が増加しています。

マリンレジャー提供業者の皆様におかれましては、安全管理に努めるようお願い申し上げます。